

標記について下記のとおり報告します。

報告者 部会長 竹内 仁

日 時 2012 年 10 月 12 日(金)

場 所 カフェあんだんて

出席者 就労促進・授産支援ネットワーク(代表 1 名)、あんびしゃ(1 名)、城陽作業所(1 名)、ワークショップ野の花(1 名)

ものづくりスペースみんななかま(3 名)

オブザーバー 福祉課(1 名) 参加者数 8 名

欠席者 宇治支援学校 (進路部長 1 名)

検討課題

1、福祉情勢・就労に関わる情報の共有。2、障がいのある人の就労保障と工賃アップに向けて (①障がいのある人の就労保障と工賃アップに向けた取り組み報告、②福祉事業所フェア実施にむけた検討及び確認)

【議事録】

1、福祉情勢・就労に関わる情報の共有。

- ・ 障害者差別禁止法、障害者政策委員会差別禁止部会が意見書をまとめる。(合理的配慮の具体的な内容等)
- ・ 障害者雇用促進法改正に向けて、労働政策審議会障害者雇用分科会で議論はじまる。
- ・ 優先調達法について
 - * 企業が福祉施設にどれだけ発注をしているか、それを行政は把握しているか。
 - * 城陽市としては把握していない。行政が何か購入するときは優先的に福祉施設から購入するようになっている。高齢者施設、シルバーとの関係もあったりするので全てを障がい者施設へ、というのは難しい。

2、障がいのある人の就労保障と工賃アップに向けて。(9月の実績報告)

- ・ 就労促進・授産支援ネットワークの実践。(城陽市内7つの就労系福祉事業所が集まっているネットワーク)
 - * 「てづくりのお店あんだんて」の取り組み。①秋の多行事にあわせて9月以降販売会の回数が増えている。①10月14日、京都サンガの公式試合時にわかさスタジアムで市民デーがあり、城陽市のブースに「てづくりあんだんて」も出店。②12月から例年通り、TWINKLE JOYOが始まるので準備中。③引き続き市役所販売での売上げは高い状況。
 - * 「カフェあんだんて」の取り組み。①会議、日中支援の時にも使っていただいている。②「カフェあんだんて」への各事業所からの実習にむけて段取りしている、10月末頃～11月上旬開始に向けてアンケート調査と日程調整していく。③新しいメニューも取り入れ、お店の発展へと繋げていきたい。
- ・ 各事業所の工賃支給状況と製品販売・企業からの受注状況の把握。
 - * 全大会議でも指摘があった2～3年くらいの実績を知りたいので、アンケートを作成して各事業所へ配布していく。
- ・ 福祉事業所フェアの実施。
 - * 「福祉事業所フェア要綱」を参考に説明、検討。①「地域にむけた情報発信ができる場」として宇治支援学校で行われる事業所説明会との違いを出す。②前半で講演依頼する企業の方については、商工会議所から紹介してもらえないか打診。支援学校の方で企業をピックアップ、会議所の会員であれば会議所事務局の方と一緒に依頼。状況によっては城陽市外の繋がりのある企業も視野に入れて探っていく。③後半では事業所の特色がわかるように各事業所のブースでの製品販売を行う予定。あんだんての展示場を設置、販売活動の様子など、写真やパネルを使って来場者に見てもらえるようにする予定。また、喫茶コーナーで「カフェあんだんて」が100円 café を実施できないか打診。

3、その他

- ・ 「ほっとはあと」に「就労促進・授産支援ネットワーク」で入会するというのはどうか。(各事業所としては入会していると思う)
 - * 「ほっとはあと」からの大量注文で1つの施設では受注できないことがあっても「ネットワーク」とおして分担すれば対応が可能となるのでは。①連携は必要となってくるので前向きに検討していきたい。(判断機関は「就労促進・授産支援ネットワーク」)